

「つける」ことは「まもる」こと

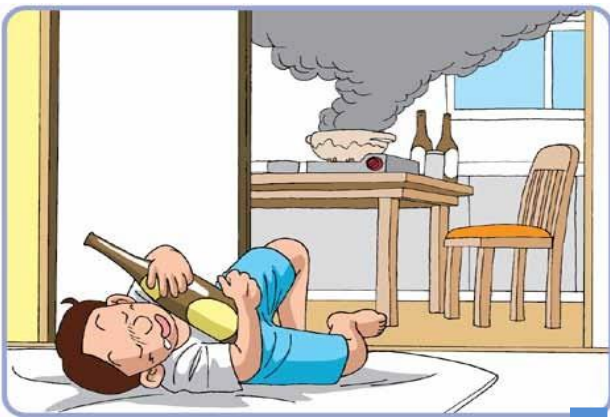


鳴りますか？あなたのお家の住宅用火災警報器

《平成23年6月1日からすべての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務付けられました》

住宅用火災警報器は、火災により発生する煙や熱を感知し、音や音声により警報を発して火災の発生を知らせてくれる機器です。機器本体を天井や壁に設置するだけで、簡単に機能を発揮します。

1 どのくらい効果があるの？～奏功事例～



台所と寝室で感知
住警器が作動



近所の人気が付いて対処！



出典：消防庁ホームページ (<http://www.fdma.go.jp/>)

自ら気付いて消火！



出典：消防庁ホームページ (<http://www.fdma.go.jp/>)



寝室で感知
住警器が鳴動



2 なぜ設置しなければならないのか？

住宅火災で毎年約 1,000 人の方が亡くなり、その原因の多くが逃げ遅れによるものです。犠牲者の 7 割が 65 歳以上の高齢者となっています。その中でも就寝時間帯の被害が多く、火災警報器は火災の早期発見、消火および避難につながり、命や財産を守るのに有効なため、平成 23 年 6 月 1 日より消防法ですべての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務付けられました。総務省消防庁の調査では、設置しない場合に比べて死者や焼損面積はおおむね半減、損害額は約 4 割減した結果となっています。住宅用火災警報器の設置で、火災による被害を少なくできます。

3 設置する場所は？



● 取り付けが義務付けられている所

● 取り付けをおすすめする所

【天井の場合】

▼壁面からの取付位置

火災警報器の中心を壁から 60 cm 以上離します。



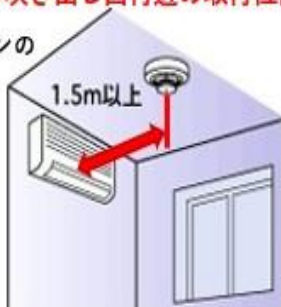
▼梁などがある場合の取付位置

火災警報器の中心を梁から 60 cm 以上離します。



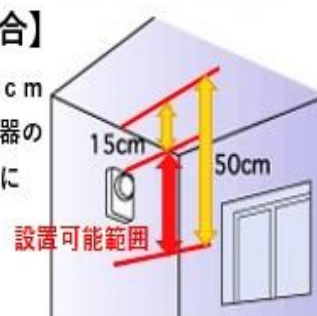
▼エアコンなどの吹き出し口付近の取付位置

換気扇やエアコンの吹き出し口から 1.5m 以上離します。



【壁面の場合】

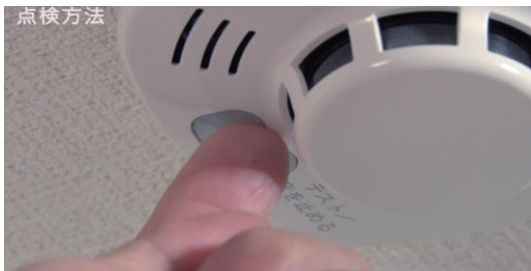
天井から 15~50 cm 以内に火災警報器の中心がくるように取り付けます。



4 誰でも簡単！住宅用火災警報器の点検・交換

もしもの時に住宅用火災警報器が作動しなかったら…

そこで大切なのが、点検と交換です。住宅用火災警報器の点検・交換は、誰にでも簡単にすることができます。点検は、本体のボタンを押すか、付属の紐を引きます。正常な場合、正常を知らせる音声や警報音が鳴ります。少なくとも年に2回は点検をしましょう。反応しない場合は、すぐに交換しましょう。交換の目安は、設置から10年となっています。すでに設置して10年以上経過している場合は交換しましょう。また、新しく交換する際は、生活に適した機器を選ぶことをお勧めします。



連動型住宅用火災警報器

作動した警報器から他の部屋の警報器へ連動させて警報を行い、火災発生にいち早く気づけます。

部屋数の多い住宅にお勧めです。



CO警報器複合型住宅用火災警報器

火災だけでなく、家庭内で発生する一酸化炭素を検知します。

石油ストーブなどの燃焼機器を使用する方にお勧めです。



屋外警報装置

インターホンなどを通じて火災発生を家の外にも知らせます。通行人等の通報や、初期消火等の協力が期待できます。

一人暮らしや、お年寄りのみの世帯にお勧めです。



補助警報装置

火災を感知した際に、警報音以外の光や振動などで火災の発生をお知らせする付属機器です。

お年寄りや目・耳の不自由な方にお勧めです。



住宅用火災警報器に関する問い合わせは、

山鹿市消防本部 予防課 (0968-43-9119) まで

